

(2) 定時制 令和8年度入学生

1 目標

- 他者との関わりや様々な行事を通じて自分を見つめ、自己有用感、自己肯定感を養う。
- 一人ひとりの社会的、職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して生きる力を高める。

2 現状・課題

定時制全体、各クラスともに少人数であることを生かして、きめ細かな指導を、必要な時に行うことが可能である。また、行事的なこと多いので、社会的な力の伸長を図る機会が多いとも言える。一方で、少人数ゆえに生徒同士でお互いに話したり、見て比べる機会が少ない面があると考えられる。学級担任中心となりがちであるが、進路指導・キャリア教育系の主導が要ると思う。

3 つけたい力

- a 多様な人々の考え方や立場を理解でき、意見を聞いて自分の考えを正しく伝えたり、協力して様々な取組ができる力。
- b 様々な体験(生徒会活動、校外学習、芸術鑑賞、生活体験発表、就業体験など)を通して社会規範・マナー等を学ぶ力。
- c 自己理解を深め、必要と思われる能力を高めるための努力を継続的にできる能力。
- d 学ぶこと・働くことの意義を理解し、社会人・職業人としての将来設計と、その実現に向け計画を立て実行できる力。

4 内容

指導項目	指導方針〈対応する項目〉
①自己の在り方、生き方を考え、社会参画の意識を醸成する	ア 学校生活、教育活動のあらゆる場面で、キャリア教育的側面を意識して指導を行う。〈①〉
②仕事や社会で必要となる力(基礎的・汎用的能力)を育む	イ 4年間の系統的な指導を行う。〈①②③④〉 ウ 講演会、進路ガイダンス等は事前・事後の指導を充実させる。〈①②③④〉
③様々な学習や体験を通して勤労観、職業観の形成を促す	エ 年度末には1年間の総括をし、次年度の取り組みに生かす。〈①〉 オ アルバイト先の企業、卒業生受入れの企業等の力を活用する。〈③④〉
④卒業後の進路を選択し、職業を通してどう社会と関わり、どう生きたいのかを構想し続ける力を育む	カ 外部団体(ハローワーク、ジョブカフェ信州等)との連携をはかる。〈②③④〉

指導場面等	指導計画・キャリア教育の視点等〈実施学年〉
教科の授業	・国語「生活体験」作文指導(1,2,3,4年) ・国語「若鮎」作文指導(1,2,3,4年)
総合的な探究の時間	・ミニ探究(1,2,3,4年) ・生活体験発表(1,2,3,4年) ・先輩と語る会(1,2,3,4年) ・職業研究(1,2,3,4年) ・文集「若鮎」作成(1,2,3,4年)
特別活動	・オリエンテーション(1,2,3,4年) ・新入生歓迎会(1,2,3,4年) ・交流会(1,2,3,4年) ・卒業生を送る会(1,2,3,4年) ・体育大会(1,2,3,4年) ・文化祭(1,2,3,4年) ・校外学習(1,2,3,4年) ・芸術鑑賞 (1,2,3,4年)・
校外の体験活動(就業体験活動等)	・就業体験活動等(1,2,3,4年) ・オープンキャンパス参加(2,3,4年)
地域や産業界等との連携	・市町村主催の各種行事におけるボランティア活動参加
評価	・県教委の実施する「生徒意識調査」の活用
中学校との連携(指導の継続性)	・中学との連絡会で情報交換を行う ・体験入学への出席案内
校内の推進体制	・学習指導係(教科・LHR 指導) ・進路指導係 ・教育課程係
キャリア・パスポートの取組	・キャリア・パスポートの活用により高校生活を見通したり振り返ったりしながら、人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力を伸ばす。

5 学年別指導計画

	1 年	2 年
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的な生活習慣の確立(定時制生活に適した生活時間、身だしなみ、挨拶、食生活)を図る。 ○ 学校生活を基盤にした人間関係を構築する。 ○ 自己理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会におけるさまざまな役割の関係や価値を知る。 ○ 就業体験を通じて職業観やコミュニケーション能力を育成する。 ○ 自己理解をさらに深め、自分らしい生き方を考える。
主 な 取 組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒会活動(文化祭、体育大会、交流会等々) ○ 生活体験発表 ○ 文集「若鮎」作成 ○ 講演会(人権教育、保健講話等) ○ 進路講話 ○ 保護者懇談会(6月、12月) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒会活動(文化祭、体育大会、交流会等々) ○ 生活体験発表 ○ 文集「若鮎」作成 ○ 講演会(人権教育、保健講話等) ○ 進路講話 ○ 保護者懇談会(6月、12月)
評 価	・生徒意識調査、学びの指標(県教委)	・生徒意識調査、学びの指標(県教委)

	3 年	4 年
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分らしい生き方をするために社会においてどのような役割を果たして活動できるか(働くこと)を考える。 ○ 自分らしい生き方の実現に向けた取り組みを行う。 	○ 生涯のキャリア形成に必要な能力や態度を育成し、希望する進路の実現に向け、具体的な行動をする。
主 な 取 組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒会活動(文化祭、体育大会、交流会等々) ○ 生活体験発表 ○ 文集「若鮎」作成 ○ 講演会(人権教育、保健講話等) ○ 進路講話 ○ 保護者懇談会(6月、12月) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒会活動(文化祭、体育大会、交流会等々) ○ 生活体験発表 ○ 文集「若鮎」作成 ○ 講演会(人権教育、保健講話等) ○ 進路講話 ○ 保護者懇談会(6月、12月)
評 価	・生徒意識調査、学びの指標(県教委) ・面談 ・学校評価アンケート	・生徒意識調査、学びの指標(県教委) ・面談 ・学校評価アンケート

年間指導計画と各取組の関連

*就業体験活動、校外活動は□で囲む

	教 科	総合的な探究の時間	特 別 活 動	その他(面接・評価等)
1 年	4 月	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の今までの在り方、歩みを振り返る。 ・課題を見つけ、解決していくための資質・能力を育成するとともに、探究の意義や価値を理解する。 ・課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 ・職業研究を通して、自分に適した職業を選択する力を身につける。 ・生活体験記の作成を通して、今後のよりよい生活を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・新入生歓迎会 ・交通安全講話 ・進路講話 ・体育大会 ・文化祭準備 ・芸術鑑賞 ・文化祭 ・人権教育 	生活実態調査 個人面接 保護者懇談(三者) □就業体験活動□
	7 月			
	国語:「生活体験」作文指導 →			
	夏 休 9 月			
	12 月 国語:「若鮎」作文指導 →			
1 月 国語:「若鮎」作文指導 →	「若鮎」原稿の作成と発表	<ul style="list-style-type: none"> ・文集「若鮎」入力 	生徒意識調査(県教委) 学びの指標(県教委)	
3 春 休				

2 年	4月	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の今までの在り方、歩みを振り返る。 ・課題を見つけ、解決していくための資質・能力を育成するとともに、探究の意義や価値を理解する。 ・課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 ・職業研究を通して、自分に適した職業を選択する力を身につける。 ・生活体験記の作成を通して、今後のよりよい生活を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・新入生歓迎会 ・交通安全講話 ・進路講話 ・体育大会 ・文化祭準備 ・芸術鑑賞 ・文化祭 ・人権教育 	生活実態調査 個人面接 保護者懇談(三者) <u>就業体験活動</u>
	7月			
	国語:「生活体験」作文指導			
	夏休			
	9月			
	12月 国語:「若鮎」作文指導			
1月 国語:「若鮎」作文指導	「若鮎」原稿の作成と発表	<ul style="list-style-type: none"> ・文集「若鮎」入力 	生徒意識調査(県教委) 学びの指標(県教委)	
3月	春休			
3 年	4月	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の今までの在り方、歩みを振り返る。 ・課題を見つけ、解決していくための資質・能力を育成するとともに、探究の意義や価値を理解する。 ・課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 ・職業研究を通して、自分に適した職業を選択する力を身につける。 ・生活体験記の作成を通して、今後のよりよい生活を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・新入生歓迎会 ・交通安全講話 ・進路講話 ・体育大会 ・文化祭準備 ・芸術鑑賞 ・文化祭 ・人権教育 	
	7月			
	国語:「生活体験」作文指導			
	夏休			
	9月			
	12月 国語:「若鮎」作文指導			
1月 国語:「若鮎」作文指導	「若鮎」原稿の作成と発表	<ul style="list-style-type: none"> ・文集「若鮎」入力 	生徒意識調査(県教委) 学びの指標(県教委) 事業所見学会	
3月	春休			
4 年	4月	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の今までの在り方、歩みを振り返る。 ・課題を見つけ、解決していくための資質・能力を育成するとともに、探究の意義や価値を理解する。 ・課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 ・進路実現(進学および就職)に向けて、主体的に取り組むとともに、労働により、よりよい社会を形成する態度を養う。 ・生活体験記の作成を通して、今後のよりよい生活を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・新入生歓迎会 ・交通安全講話 ・進路講話 ・体育大会 ・文化祭準備 ・芸術鑑賞 ・文化祭 ・人権教育 	進学・就職指導 生活実態調査 個人面接 保護者懇談(三者) <u>就業体験活動</u>
	7月			
	国語:「生活体験」作文指導			
	夏休			
	9月			
	12月 国語:「若鮎」作文指導			
1月 国語:「若鮎」作文指導	「若鮎」原稿作成と発表	<ul style="list-style-type: none"> ・文集「若鮎」入力 	生徒意識調査(県教委) 学びの指標(県教委)	
3月				